

御宿台

Onjukudai-ku News

2000 夏号

No. 1

区 運営委員会編集・平成12年7月1日発行



「池をめぐる自然歩道」

野鳥の声を聞きながら森の中を歩いていると、
何処か遠くに来たような気がします。

写真と文：佐伯光一（405-12）

最近の治安・秩序の乱れには憂慮すべきものがあります。暴走族、夜中のスケボウに始まり、禁止されているはずのメジロ・ウグイス・ヒバリを白昼公然と捕獲する傍若無人な振る舞い、また、植木草花の盗掘、庭先の果実盗み、別荘荒らしの横行と目に余る状況です。これまで余り問題にされてこなかった建築協定にも綻びが生じてきました。期間の延長・商業地の制限規定の論議に、新たに「眺望権」問題が起きてきました。

建築協定の完全実施には町当局の理解と協力が必要ですが、最終的には景観条例・風致条例の実施が望まれます。

公共緑地は西武の管理対象からはずされ町移管が決定しており、ミニバスも明年には廃止が示唆されております。

他方、緑の管理・維持費は年々下降線を辿り、質の低下は否めません。

規則・協定について西武、行政との全面的な話し合いがいま何故に必要なのか、お判り頂けるものと考えます。

地域パトロールは管理費に包含されて良いし、ミニバスも検討の対象となりましょう。別荘利用を主目的に開発されたのでしょうか、いまでは定住リゾートへと移行してきております。管理費の透明化とともに、規則そのものが問われて良いのではないのでしょうか。特別管理充当金にも無関心ではられません。御宿台が開発されて12年、ここの生活利用施設にも大修理か新設の時期がきています。

本年4月から親睦会の仕事も継承して行政区が設置されました。行政区運営委員会は累積する問題解決に向けて力を傾注しなければなりません。今年は正念場と考えております。定住・非定住を問わず各位のご協力をお願いいたします次第です。御宿台区長 鈴木 正也

当面する緊急課題について

御宿台区会報を発行します。区運営委員会は情報を治安・環境対策と並んで重要なテーマと考えています。区会報が中心になりますが必要に応じて臨時号、増頁、掲示などをいたします。非力なために手落ちを危惧いたしておりますが、その場合はご寛恕ねがいます。

治安・秩序については看過できぬ状態のため対策が急がれますが、警察力だけでは心許なく自衛手段を必要とします。通常の警備保障メニューは多目的、多機能で高価に過ぎ汎用性がありません。盗難に絞った単一機能で安価なメニューの開発を提案しています。パトロールは地域全体の包括的な警備として有効と考えますが、その経費は管理費から捻出する以外に方法がありません。

広義の環境問題として「眺望の共有と享受」は、いま具体的に西武と協議にはいっています。その主旨は、「美しい眺望を共有し享受するため、建築協定の精神を尊重し景観と町並みの維持に努め、狭隘な都市空間では日照権が、リゾート御宿台では眺望の共有が大切な要件であることを理解する。家屋と付属設備の設計では、隣接地の眺望、景観を著しく妨げないように留意することを指針とし、必要に応じ運営委員会（協定12条）が判定にあたる。」

何れをみても容易に解決できることではありません。各位のご理解とご協力をお願いする次第です。

行政区設置規則の改正（平成12年4月1日施行）

昭和60年制定のときは趣旨は行政事務の円滑さと利便性だけでしたが、今回の改正では「地域の住民自治組織と連携を密にして町行政の民主的で効率的な運営を図り、町政の発展に資するため行政区に関し必要な事項を定め」区役員は「町行政が円滑に住民に伝達し、町民の要望を町にすみやかに連絡することに努め」云々と改正されました。

西武管理事務所との協議から

- 管理費。5月の定例会で説明がありました。その是非は何れ管理規則の検討に際し討議したいと考えます。内容は別紙を参照ください。
- 特別管理充当金に関連して、集合アンテナ・ケーブル、汚水処理施設の補修見通しを、近く業者からきく予定です。
- 昨今の治安・秩序の混乱に対処して全域パトロール実施にむけ試行を始めました。
- 交通標識。キャッツ・アイを椰子の木通りのT字路中央部に取り付けました。町役場を下る曲がり角と県道に入る交差点にカーブ・ミラーの追加を検討しましたが、効果認め難いとして見送られました。標識の設置種類・内容は公安委員会が決定し、必ずしも地元の要望どおりにはなりません。ご要望はお寄せください。
- 既設3ヶ所の掲示板にガラス戸を取り付け、新たに数ヶ所の増設を交渉中です。
- 野鳥捕獲禁止の立て札を300～400街区の最南端に設置。

お知らせ

倉島宣昌さん（406-09）が当地区の統計委員に推薦されました。今年は国勢調査の年に当たり、それには補助員を加えた4名の方に調査をお願いすることになります。

TOPICS

「海と緑に映える歴史とリゾートのまち—御宿」 都市計画マスタープランから原案作成へ

5月29日、将来の都市像について町当局の説明を受けました。御宿台については緑化協定、建築協定などにより良好な住環境の維持保全をはかり、周囲山林の景観緑地として位置付けること、JRの複線化促進と東京までの快速直行便、駅舎の整備・改善などを図ることが謳われています。

住民の意見を入れ希望と夢をまとめたものですが、実現には紆余曲折が予想されます。20年後の平成32年の人口は12,000人、現在の50%増が大前提です。財政負担がどの位になるか、公益と私権の対立を克服する知恵は？

何れにせよ、町財政の健全化と事業の広域化による効率化が つよく望まれます。



中央公園の花壇

造園緑化活動に助成金

中央公園の花壇造りに取り組む「自然に親しむ会」に(財)都市緑化基金から助成金15万円の交付が決定しました。緑化に従事する全国各地の住民団体を対象に審査し、適格とされたものに助成されます。発足したばかりで活動基盤も実績もこれからということでしたが、町当局のご推薦もあって申請しました。

「花と緑」の環境づくり推進に大きな励みになることでしょう。

別荘の固定資産税に軽減措置

町広報誌「御宿」2月号に掲載されましたが、別荘に対する課税標準の特例（軽減措置）が適用されます。非定住の方で条件を満たせば認められます。

問合せは、町税務課固定資産係まで

寄生木の被害が広がっています

最近、緑道や住宅の垣根に寄生木が目立ち始めました。寄主の樹木が弱ると出やすいようですから施肥・剪定・刈り込みなど、日頃の手入れにご注意ください。

ヤドリギは樹木に寄生する常緑低木で吸根を寄主の組織に侵入させ養分と水分を吸収して成長します。花は緑から赤、黄、と色々で開花の時期も異なります。果実は鳥が食べその排泄物が他の樹木に付着して発芽します。寄主になる木は多く、椿、山茶花にも寄生します。

ヤドリギのために寄主の樹木が衰弱し枝がこぶ状に肥厚するなどの被害があります。今のところ、寄生した枝に吸根が残らぬように切除する以外に適当な対策はありません。

予防策はこまめにヤドリギの果実を摘み取ることで予防圏は半径100メートル以内といわれています。

西武造園(株) 斉藤 正徳

「御宿と海の研究所」

転職のため横浜から御宿にやってきたのは、昭和54年の11月であった。最初はすぐに宿舎が見つからず岩和田に単身で間借りした。勤務先の(財)海洋生物環境研究所(通称、海生研)ではクルマが無いと不便で、勤務の合間に自転車で浪花の自動車学校に通った。

横浜から御宿に来てびっくりしたのは、東京のこんな近くにもかかわらず、JRの沿線の水田で白サギがのんびりと羽ばたいていたことと、ごやっかいになったお宅では、外出の際、カギをかけないで出ることであった。都会ではとても考えられないことであり、御宿の純朴な風土を充分物語っていた。

さて、御宿の町は昔から外房でも有名な漁業の町であり、カツオ、ブリ、ヒラメ、イカ、イセエビ、アワビ、サザエ等々を水揚げし、太平洋に面したウネリの大きな豪快な様相の海を擁している。海はあくまで広く、蒼く、遮るもののないその水の堆積は、時に人を詩人にし、哲学者にもする。

その外房のきれいな海の水を取水して、さまざまな調査研究を海生研で行っている。例えば魚を2週間くらい幾つかの水温で飼育し、その次に人の背丈くらいの高さと横幅を持つ水槽に入れて上下に11段階の温度の層を作り、魚が各々の飼われた水温ではどのような水温を選ぶかという実験を行ってきた。

その結果マアジ、マダイなどは24~25℃付近を、スズキ、クロダイなどは28~30℃付近を最も好むことなどがわかってきた。

これは、1例であるが、海生研では望ましい海域環境を求めて日夜様々な調査研究を行っている。

(財)海洋生物環境研究所
中央研究所長 城戸 勝利



情報 5月31日現在

御宿台開発状況

売却済分譲地：989区画 建築中：11戸
建築戸数：582戸 定住届出：250戸

乗合タクシーの利用

3月/392人 4月/366人 5月/444人

パークゴルフ利用状況

3月/853人 4月/439人 5月/825人 月平均705人

春期・病害虫消毒：208戸(区運営委員会幹旋)

区運営会費の納入について

御宿台区の設立に際して、運営会費は年間1,000円と決められましたが、旧親睦会員は12年度会費をもって本年度会費とします。その他の方々には、改めてご連絡します。

最高級そばと地酒の店

そば処
竹むら

御宿台店
☎ 68-8888



御菓子司

海月堂

製造発売元

御宿町須賀572
☎ 68-2345

一人前より 出前迅速

うぶぎ
鶏丸

高山田 高校前通
☎ 68-4867

ペンション・中華レストラン

チャイナ

御宿台出前OK!!
☎ 68-2920
ニクニレ

本格手打の店
粉は国産石臼碾
きんてい

上布施
☎ 68-5220

◆孫達のふるさとづくり

海と山の美しい自然に囲まれた素晴らしいロケーション、グレードの高い環境に惹かれて……

子供たちがそれぞれ結婚し、まだ見ぬ孫達に故郷を田舎をと、気の早い爺さん婆さんが、犬と猫を連れ故郷作りを御宿台で始めて早や七年、今年で孫も三人になります。孫達が木登りが出来るようにと、庭先に榿の木を植えましたが大誤算。木の成長より孫の成長の方が早い、残念。共にスクスク成長してくれば幸いと、榿の木をながめながら東京の孫達を思い出している日々、早く来いよ、遊びに来いよと。

いよいよ御宿台も行政区の仲間入り、自然の成り行きでしょう。町（行政）西武そして住民が一体となって、我々が求めている定住型リゾートの環境を保って、子々孫々にいい街を残したいものですね。

(222-11 堀川 賢治)

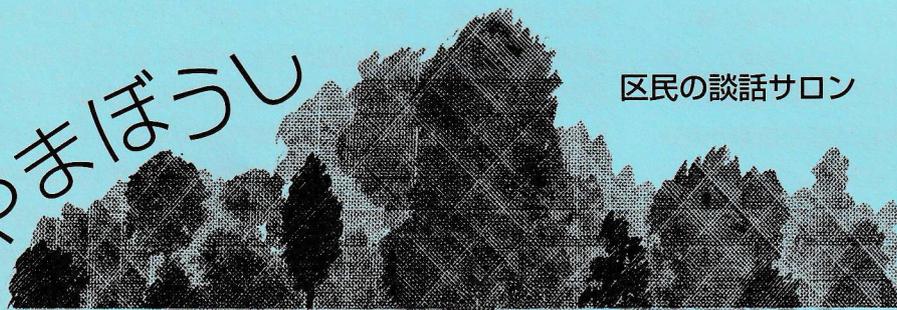
◆ほんとうの豊かさ

こんな人けのない寂しい所、嫌だわ。まるでゴースタウンみたい。近くにデパートだってないし。でもスーパーはあるよ。なにより自然がいっぱいだ。ややうろたえて言い返したが、我ながら説得力に欠けると思った。しかし、惚れ込んだ勢いで、昨年春引越してきた。

海に昇る朝日に感動し、満天の星に酔い、野を跳ぶ兎、大空に舞う鳶に心を和ませる。樹を植え花を育て、訪れる友をもてなし、気の合う隣人との交流を愉しむ。仕事や時間に追い立てられることのない、ゆったりした時があつという間に過ぎ去っていった。大都会での暮らしで見失っていた「ほんとうの豊かさ」がある」という思いを、いま強くしている。デパートを諦めた妻も、ゴーストならぬグリーンタウンのこんな暮らしを、愛犬テツに劣らず、エンジョイしているようだ。時々東京方面へ、いそいそと出掛けてはいるが。

(406-9 倉島 宣昌)

やまぼうし



区民の談話サロン

ヤマボウシは御宿台でもよく見かけられるミズキ科の落葉樹で、初夏に白い花を美しく咲かせます。つぼみの有様をお坊さんに見立ててこの名前が付けられたそうです。近縁にハナミズキ（アメリカヤマボウシ）があります。

◆潜在脳裏のふるさと

私共夫婦は、四十代に海の近くの暖かいリゾート地に移り住むのが夢でした。この御宿は、いろいろな偶然が重なり、一回見てすぐに決めた所でした。なぜかという、初めて来たとは思えないくらい何か懐かしい、ほっとしたところがありました。これは後でわかった事です。二つの理由がありました。一つは、私が幼い頃童謡の「月の砂漠」が大好きでレコードがすり切れるまで聞いていた事、町で流れる曲に心がなごみます。もう一つは、私の旧姓が「岩瀬」で今まで同じ姓の人とは、一度も会った事がなく、この御宿に来て「岩瀬」姓が多いのにびっくりしました。何か不思議な思いにかられました。

この町で旬の野菜での料理、ひもの作り、お菓子作り、手芸、自己流でやっているインターネット、メール友もでき、とても楽しく、のんびりと穏やかに生活しています。

(313-4 室園 美枝子)

◆とんだ思い違い

昨秋、御宿台を終の栖とさだめて妻と二人だけの生活に入った。人一倍思い込みの激しい私が「南房総」という名を聞いただけでてっきり「温暖」ということに決め込んでしまったのはとんだ思い違いらしい。設計段階のやりとりでは、二重窓や床暖房なども話題になったのだが今となっては後の祭である。

初めての冬を過ぎて朝夕の冷え込みが厳しいと感じた。昼夜の温度差が大きい故か、小高い丘陵地で空気が透明なのか、はたまた寄る年輪のなせるわざであったのか自問自答している。

長年のマンション暮らしで久しくお目にかからなかった霜柱は妙に懐かしく、寒天に仰ぐオリオンやシリウスには少年の頃の郷愁を抱かせるものがあった。よく日本人の美意識は鋭敏で繊細なのに醜にはこれまたすぶる鈍なりといわれる。御宿台住民の一員として後段のことには心していきたい。

(230-7 宮田 成隆)

編集 後記

行政区に移行してはじめての発刊です。生活に関わる情報の発信とともに、住民の親睦を目的とした広報誌の役割も果たしていきたいと考えています。Onjukudai-ku News づくりに、皆さんの参画を歓迎します。第一号発刊にあたっては、本誌のデザイン、写真、投稿など、多数の方々のご協力をいただいたことをご報告します。
(水本)

今号より、
区民のみなさんの
寄稿ページを
「やまぼうし」
と名付けました。



区運営委員会委員

鈴木正也	会長	210-13	68-6961
稲村敏彦	総務	102-09	68-6271
滝口義雄	環境	103-09	68-3661
矢作舜二	会計・衛生	238-12	68-8677
水本清司	広報・記録	313-02	68-3115
佐伯光一	衛生・環境	405-12	68-6360

牛牧場問題について ― 農業公社、町長、町議会議長あて要請

村石牧場の解決報告と隣接2牧場問題について下記の書状を関係先に送付しました。当初計画の変更と財政難による県補助金の削減で、計画全体は数年遅れるようです。

平成12年4月14日

御宿町長 加藤 長 様

御宿台区長 鈴木 正也

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本地区に隣接して立案の県農業公社肉牛牧場拡張計画につきましては当事者間で協議をすすめてまいりましたが、この度、推進者である「有」村石養鶏場と合意に達し、その内容を文書化いたしました。写しを添付いたしますので宜しくご了承賜りたく、ここにご報告申し上げます。

昨年6月9日、町議会で「環境アセスメント」請願の採択決議を頂き、その後9月下旬に公社、町当局と御宿台環境対策協議会の三者会議がもたれ、公社修正案をめぐる論点が詰められました。結論は糞尿処理の先進事例を見学してからと持ち越されましたが、町当局のご斡旋により、村石肉牛牧場、印西の鈴木乳牧場、福井の森国乳牧場の三か所を見学いたしました。乳牛二牧場はいずれも住宅地に隣接し厳しい条件下にあります。プロセスに多少の違いはありますが、堆肥化処理を行い臭気と汚水基準をクリア、事業としても採算は確保している、ということでありました。

村石牧場の堆肥化施設は天日乾燥オープン・ハウス構造のため、内部臭気をさらにオガ屑で吸着除去する方式が追加提案されました。原案の二次堆肥舎増設とあわせると臭気対策はほぼ出揃ったこととなります。堆肥化では水を使用せず周囲の雨水側構が確りしておれば土壤汚染もないと判りました。

原案の牧草地 2.9 haと切り通しの中止で環境保護林は存続し、調整池と雨水排水路の施工で下方区域の危険度は改善される見通しであります。

この度は町議会、町当局の並々ならぬご配慮とご協力にあずかりました。衷心より御礼申し上げます。また県農業公社、村石牧場ともに前向きな取り組みを頂きまして、早々に解決できましたことを深く感謝いたしております。

しかし、近接の他牧場については、寡聞にして未だ環境対策、施設改善の具体的な動きを聞いておりません。短時日ながら村石問題をとおして得られた知見では住宅地に近い牧場でも堆肥化設備を併置すれば共生共存が可能であり、今日ではそれが通常の事例として農水省畜産局もこの線にそつて指導されていることが判りました。

以上、縷々申しあげましたが、町議会、町当局におかれましても環境対策未実施の向きには、早急に行政指導など然るべき対策の行なわれますことを、切にお願い申し上げます。敬具

添付書類： 合意書写し

(注) 同文 ― 御宿町町会議長 貝塚嘉鞆 様
同趣旨 ― 県農業開発公社 布施 剛 様

原文を多少圧縮しましたが主旨、ニュアンスに変更はありません。

『管理費の説明』

平成12年度予算と平成11年度実績

-西武管理事務所から-

単位：千円

項 目	H12(予)	H11(実)	差異	差異分析
個人	53,185	49,273	3,912	H12/H11
初年度加入者	2,200	2,289		
法人	8,768	8,676		◇収支改善 8,100
利子	150	138		収入増 3,927
収入合計	64,303	60,376	3,927	支出減 4,173
汚水処理	14,657	15,107	▲450	*戸数増加 40戸
点検週 2回	(2,880)	(3,240)		
定期修理、保守	(4,418)	(4,670)		*緑の維持費削減
汚泥除去	(3,786)	(3,622)		公共空間 4,300
電気代など	(3,573)	(3,575)		販売済地 3,100
CATV	9,071	8,134	937	◇問題点の幾つか
保守、点検	(2,880)	(3,100)		
修理	(5,000)	(3,850)		*未建築私宅地の
電柱共架料、電気代	(1,191)	(1,184)		草刈り代の負担
緑の管理(芝刈り、剪定、清掃)	21,700	26,000	▲4,300	*「緑の管理」基準
街路灯、防犯灯	3,113	2,985	128	が不明確なため
消防分担金(隣接区消防団)	1,607	1,531	76	搬寄せ先になる
ゴミ処理手数料(町当局)	1,422	1,344	78	*別荘から定住に
道路、小公園の巡回、清掃	1,296	1,281	15	管理規則の考え
ゴミ集積庫内の消毒清掃	1,759	1,404	355	方を見直す
集会所維持費	391	372	19	*パトロールとか
雑費(自動引落し料など)	570	501	69	ミニバスなどの
小計	55,586	58,659	▲3,073	扱い
西武管理費	6,600	6,600	0	*費用支出の適否
中計	62,186	65,259	▲3,073	チェック権能
システム開発費	2,000	0	2,000	*管理費の黒字化
10,000×1/5(5年償却)累計	64,186	65,259	▲1,073	(現状で推移して
販売済 未建築私宅地(芝刈り)	8,400	11,500	▲3,100	数年あと)
支出	72,586	76,759	▲4,173	▲印はH11に比し
収支	▲8,283	▲16,381	8,098	て支出減を示す
				が良否を意味し
				てはいない

注、ここでは問題の所在を指摘するに止め、この是非については別途討議したいと考えます。差異分析は運営委員会のコメントです。